



# 議会図書室からのお知らせ

今月の新着図書  
R6年3月号

## 『コモンの「自治」論』

地方自治

齋藤 幸平/松本 卓也 他【著】/集英社 (2023/8)



崖っぷちの資本主義と民主主義。この危機を乗り越えるには、破壊された「コモン=共有財・公共財」を再生し、その管理に市民が参画することで「自治」の力を育てていくしかない！新進気鋭の論客や実務家が集結。未来を切り拓くための実践書。

## 『2050年の世界～見えない未来の考え方』

未来予測

ヘイミッシュ・マクレイ【著】/日経BP (2023/7)



人口、気候、エネルギー、民主主義、格差、テクノロジー。2050年の世界はどうなる？英ジャーナリストが、膨大なファクトと経済学、地政学、歴史的な洞察から大胆に予測。ポジティブな見通しを重視した分析から見えてくる、30年後の驚くべき現実とは？

## 『今どきの若者のリアル』

Z世代

山田昌弘【編著】/PHP研究所 (2023/11)



「今どきの若者は〇〇」と自らの印象で語られがちなZ世代を、研究者やノンフィクション作家はどう捉えているのか。マッチングアプリの功罪、複雑な承認欲求、変容する消費行動等の若者の現状とその背景を解説。Z世代の思考を知り、日本の今と将来を考える。

## 『デンマーク人はなぜ4時に帰っても成果を出せるのか』

ワークライフバランス

針貝有佳【著】/PHP研究所 (2023/11)



国際競争力ランキング2年連続世界1位！仕事への満足度も高いデンマーク。高い生産性とワークライフバランスを実現させるカギは、「ムリしない、させない」時間の使い方と職場の人間関係にあった！日本人も実践できる、「楽しい働き方」を提案する1冊。

## 『自治体のヤングケアラー支援～多部署間連携の事例からつかむ支援の手がかり』

ヤングケアラー

内尾彰宏/濱島淑恵【編著】/第一法規出版 (2023/10)



自治体の多部署間連携により功を奏したヤングケアラー支援事例を解説。支援を求めるヤングケアラーに、自治体はどのように住民サービスを提供できるか。支援の手がかりがつかめる書。自治体で応用できるヒントも提示している。

## 『学び直しとリカレント教育～大学開放の新しい展開』

大学開放

出相泰裕【編著】/ミネルヴァ書房 (2023/10)



今世紀に入り、学び直しとリカレント教育の推進に向けて、大学開放の重要性が高まりを見せている。今、大学開放はどのような動向にあり、新たな実践を見せているのか。地理的開放・年代的開放・機能的開放の3タイプから「大学開放のあり方」を探る。

## 『AI失業～生成AIは私たちの仕事をどう奪うのか？』

AI問題

井上智洋【著】/SBクリエイティブ (2023/11)



AIの登場により、本格的な失業の脅威を多くの人々が肌身をもって感じ始めている。AIが明暗を分ける仕事、業界、また日本の未来を経済学者が大予測。この大変革期に「人工知能が私たちの雇用と経済に与える影響」について、わかりやすく解説する。

## 『ビジュアルでわかる日本～データに隠された真実』

街づくり

にゃんこそば【著】/SBクリエイティブ (2023/12)



「日常生活」や「食文化」などの身近な話題から「少子高齢化」や「気候変動」「感染症による行動変容」などの社会問題にいたるまで、45のテーマで日本のデータを可視化。数値を可視化することで、意外な真実が見えてくる！楽しく役立つデータブック。

## 『「支える人を支える」まちを創る～福祉従事者がやりがいを持って働き続けることができるまちづくり条例』

福祉人材

(新都市)の意義・展望』 松下啓一【著】/風媒社 (2023/11)



愛知県新都市が制定した「福祉従事者がやりがいを持って働き続けることができるまちづくり条例」の目的や、条例に基づく施策を紹介し、条例の意義・展望を解説する。「福祉従事者を支える政策はどのようにつくるのか」をテーマにした討論も収録。

▶トピックス：「新しい働き方」に関する書籍

新着

『男性育休の社会学』

中里英樹【著】/さいはて社 (2023/2)



「男性育休取得率向上」の先に何を指すべきか？日本、ドイツ、北欧での調査を踏まえ、育児をめぐる文化、制度の内容、改正のプロセス、実践について分析し、構造転換に向けて方策を提示する。

『リデザイン・ワーク  
～新しい働き方』

リンダ・グラットン【著】/東洋経済新報社 (2022/10)



「人生100年時代」を提唱した経営学者、リンダ・グラットン氏。世界中の様々な企業の現場事例をもとに、私たちの「仕事のあり方」ひいては「働く意味」「人生の豊かさ」を“リデザイン(再設計)”する。

『エシカルワークスタイル  
～自分にも人にも優しい働き方を  
考えてみる』

池田晃一【著】/日経BP (2022/4)



「柔軟な働き方」を10年以上研究してきた専門家集団が提唱する「新時代の働き方と働く場」とは？健康・利他・ダイバーシティ・地球環境を軸に、識者との対話を収録。豊かに生き、働くための方法論。

『どこでもオフィスの時代  
～人生の質が劇的に上がる  
ワーケーション超入門』

一般社団法人 みつめる旅【著】/日経BP (2021/10)



働き方・働く場所を考えることは、人生の主導権を取り戻すことでもある！ワーケーションを導入している地域や企業の事例を紹介しつつ、ワーケーションの本質についても言及する。



図書広報委員がおすすめする一冊

『これでいいのか登山道』

～現状と課題～



著者 登山道法研究会/山と渓谷社  
(2021年12月)



紹介者：あべ ともよ 委員  
令明・太田市選出・5期

かつては信仰や仕事などのため、一部の人がしか登ることのなかった山々を、いまや多くの人たちが楽しむことができるのは、登山道があるから。時として、そこを通る人たちの文字通り命を支えるその道が、いま危機に瀕しています。法令や管理規定などを整備し、登山道を末永く維持していける体制をつくっていきたく願う執筆者のみなさんが、協議や調査を重ねてまとめたのがこの本です。登山道に関するさまざまな論点や現状、世界の状況などがわかるだけでなく、山を愛する執筆者のみなさんの熱い思いも伝わってきます。登山道の今後を考えるうえで、ぜひ読んでいただきたい1冊です！

次号では、高井 俊一郎 副委員長におすすめしていただきます！



議会事務局政策広報課 (議会図書室)